

非財務開示のボトルネックの解消へ グループ会社からの 非財務情報収集の ポイント

第1章

国内・欧米の動向も注視

非財務情報の開示に関する現状と 実務上の課題

第2章

既存のグループ情報基盤をどう活用するか

効率的な情報収集のための デジタルインフラ構築

第3章

開示を契機に意思決定の最適化へ

非財務情報を戦略的に活用するポイント

EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株) 山岡 正房

本年3月期からサステナビリティ情報の有報開示が始まったが、このような非財務情報開示業務において、グループ会社からの情報収集がボトルネックになりやすい。それは、財務情報に追加してさまざまな情報提供が要求されるグループ会社の業務負荷の増大と、それらの情報を迅速・正確に収集するための親会社のコミュニケーションの複雑化が問題点といえる。そこで、本特集では、グループ会社から非財務情報を収集するためのしくみ構築と、その情報の戦略的な活用について解説してもらった。